

開館 25 周年のご挨拶
～街とともに歩んだ 25 年～

福岡市博物館は、1990（平成 2）年 10 月 18 日に、ここ百道浜の地に開館しました。今年で 25 周年を迎えたことになります。

1989 年に、海浜の埋め立て地で、よかトピア（アジア太平洋博覧会）が開催されました。それが百道浜という土地の歴史のはじまりです。当館の建物も、博覧会のパビリオンとして利用されることから、歩みを始めました。

だから博物館の 25 年は、そのまま百道浜という街の 25 年なのです。街とともに歩んだ 25 年。自らの歩みを、常に街の歩みと重ねることができる。私たちはそのことの中に、福岡市博物館のあるべき姿を見出していきたいと考えています。

館をここまで育ててくださった市民の皆さまには、改めて厚く御礼申し上げます。展覧会にお出でいただいた皆さまはもとより、資料のご寄贈やご寄託をいただいた皆さまとの、長く続いてきた信頼関係こそは、福岡市博物館が常に立ち返るべき原点であり、命綱だと考えています。

そして、周りにこれといったお手本も、ライバルとなるべき存在もないまま、手探りのスタートから、地域に生かされる博物館という道筋をつけてきた歴代のスタッフに、改めて敬意を表したいと思います。

福岡市博物館の収蔵資料は、福岡市という地域の、優に 2000 年を超える歴史を示すものです。2000 年の歴史を 25 歳の若造が背負っている。我ながらいい姿だと思っています。

福岡市博物館は、これからも街と息づかいをともにしながら歩んで参ります。皆さまには、機会あるごとに福岡市博物館に目を向けて下されば幸いです。私たちスタッフ一同、ご期待やご批判にお応えできるように力を尽くして参ります。

2015 年 10 月 18 日

福岡市博物館長

有馬 学